



↑ 高台に向かって走って避難する園児ら

指江保育園で防災訓練 大地震想定し高台へ避難訓練

3月19日、指江保育園（正覚智成園長）で、津波に備えた避難訓練がありました。

訓練は、3年前に起きた東日本大震災の教訓から、甕島沖でマグニチュード7の巨大地震が発生し、その後大津波が押し寄せるという想定で実施されました。

午前10時、園内の非常ベルが鳴り響くと、保育士の指示で園児らは机の下に隠れました。その後大津波から逃げるため園を後にし、集落内にある生活道路を利用して一斉に高台に駆け上がりました。

指定した高台に駆け上がるまでかかった時間は4分30秒余り。避難の様子を見届けた正覚園長は「実際の災害時は1分、1秒を争います。今日はみんな良くできました。全員に花丸をあげます」と園児らを褒めたたえました。

第7回関西ながしま交流会

日本の真ん中に長島弁が響く

3月16日、大阪市にある太閤園で第7回関西ながしま交流会がありました。

交流会には、町内出身の会員ら約230人が出席し、石塚政廣副町長ら町の一行と交流を深めました。

懇親会では「島美人」を酌み交わしながら、互いの近況報告や昔話に花を咲かせました。ステージでは、恒例の町の特産品が当たる抽選会のほか、唄や踊りが披露され、ステージを飛び出し会場いっぱい使って「ハンヤ節」や「焼酎天国」を踊り、盛り上がりました。



↑ 会場で「ハンヤ節」を踊る参加者



↑ 北薩地域振興局の久万田建設部長から表彰状を受け取る福寄理事長（左）

道路愛護で知事表彰 川床土地改良区が受賞

3月18日、平成25年度河川愛護運動の優良団体に対する知事表彰伝達式が、役場内でありました。

受賞したのは川床土地改良区（福寄勝行理事長）で、同団体が毎年汐見川の草払いなどの清掃を実施するとともに景観の保全などにも貢献していることなど功績が讃えられました。

福寄理事長は「参加している全員の努力のたまもの。今後も継続していきたい」と喜びました。